

部活動の地域移行とは

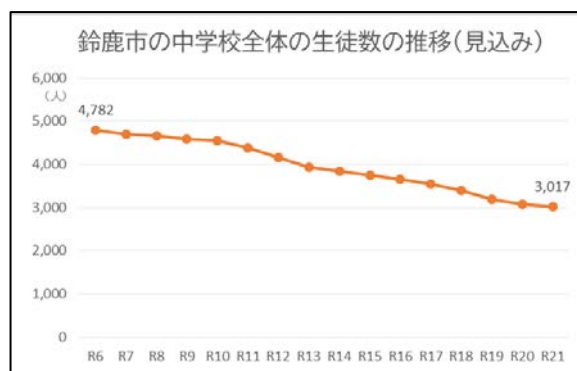
令和4年12月にスポーツ庁・文化庁から学校部活動の在り方等に関するガイドラインが公表され、鈴鹿市でも、中学校の部活動改革に向けた様々な検討・取組を行っています。

これまで中学校教員が顧問となり学校主体で行ってきた部活動を、新たに地域が主体となる仕組みに移行することを「部活動の地域移行」といいます。少子化の中でも、子どもたちが将来にわたりスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができるようにするため、部活動の地域移行が全国的に進められています。

なぜ部活動改革をすすめるの？

現在、学校部活動では「単独校でチームが編成できない」、「やりたい部活動が設置されていない」、「専門的な指導ができる教員がいない」などの現状があります。

鈴鹿市では、今後も少子化が進展し、15年後の生徒数は、現在の63%にまで減少することが見込まれており、今後、これまでの部活動の体制を継続することは、ますます困難となることが予想されることから、新たなスポーツ・文化環境を整備していく必要があります。



現状・課題

- 1部活動の部員数が減少し、チーム編成ができない
- 活動したい部活動が設置されていない
- 専門的な指導ができる教員がいない

多様なニーズ

- 新たな競技や様々な活動を経験したい
- 競技力を向上させたい
- 自分のペースで参加したい

地域移行によるメリット

子ども

より専門的な指導を受けることができる

地域

子どもたちと繋がる機会が増え、地域の活性化につながる

学校

生徒と向き合う時間や、授業を準備する時間が増える

いつ、どのように変わるの？

令和6年、令和7年

学校部活動

学校ごとに部活動の継続・廃止などについて検討していきます

令和8年10月以降

平日：鈴鹿市運動部活動指針(文化部含む)(※)に則り実施します

休日：実施しません

本市の中学校は、「鈴鹿市運動部活動指針(文化部含む)(※)」に則り、学校部活動を行っています。令和8年10月以降の学校部活動は、月曜日から金曜日までの実施とし、休日は実施しません。

部活動地域移行準備室 河原・井上 TEL 059-382-9028